

## 令和6年度予算の概要

令和6年度は、将来構想策定会議のビジョンを遂行していくための事業および創立100周年へつながる取り組みを推進することを基本としました。

事業計画は、財務基盤確立に向けた資金投入となることから、実施事業の効果検証及び収支計画を確認した上で、中長期計画における事業実施の意義を明らかにし、経営戦略上、必要不可欠、優先度、緊急性のある案件に限定し、学校法人全体の単年度収支を勘案して実施判断、予算措置を行いました。

予算編成方針は、安定した財務基盤に向けて収入予算内で支出予算の編成に取り組むことにより、教育活動収支差額の均衡、経常収支及び事業活動収支差額黒字編成とすべく、全教職員が連携して取り組むこととしました。

以下、理事会・評議員会にて承認されました令和6年度の事業計画予算および事業活動収支予算について概要をご報告します。

### [事業計画]

教育、研究、診療の環境整備に関することにおいては、(1)教育活動充実のための環境整備(全19事業)①御井学舎 学生の学修行動把握のための出席管理システム整備②医学部 新校舎建築工事③附設高中校 第2体育館および特別教室棟新築工事他。(2)研究活動充実のための環境整備(3)診療活動充実のための環境整備(全11事業)①大学病院・医療センター医療機器更新②大学病院ネットワーク・サーバ仮想化環境更新③医療センター 医療連携推進室等改修工事他。(4)省エネ対策および施設設備の適正な維持管理に係る改修事業

以上、事業計画に係る予算総額は62億5千1百万円となりました。

### [事業活動収支予算の状況]

事業活動収入計の642億7千5百万円から、事業活動支出計の641億2千6百万円を差し引いた基本金組入前当年度収支差額は、1億4千9百万円となります。

経常収支差額は1億1千2百万円となり、令和5年度予算比1千6百万円増となります。

収入では、特に医療収入に関しては、入院外来の稼働状況や患者数など数値目標を設定し年間を通じた医療体制提供取り組みに基づき収入増を見込んでいます。支出では、物価上昇が続くなか事業計画による支出のほか、既存予算の実績確認見直しと不要不急の支出削減を行い、教育活動収支改善を念頭に編成した予算としました。基本金組入額は、事業計画に基づき37億7千7百万円としました。

今後も常に状況の変化に対応しつつ、教育・研究・医療のさらなる充実を目指して安定した財務基盤の確立に取り組んでいきます。